



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂井 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 川口 鉄二

TEL 03-3459-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	68,262	△2.8	1,149	6.6	1,149	6.5	685	8.7
23年12月期第2四半期	70,229	2.5	1,078	43.9	1,079	47.9	630	1.3

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 838百万円 (53.9%) 23年12月期第2四半期 544百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	6.22	—
23年12月期第2四半期	5.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第2四半期	56,360	15,578	27.6	141.76
23年12月期	56,931	15,543	27.2	139.24

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 15,528百万円 23年12月期 15,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,700	4.6	2,000	9.7	1,930	12.4	1,030	△23.7	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
 - ④ 修正再表示 ： 無

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	112,714,687 株	23年12月期	112,714,687 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	3,175,850 株	23年12月期	1,351,436 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	110,060,351 株	23年12月期2Q	111,370,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災及びタイの洪水からの回復基調にあるものの、欧州債務危機の再燃による中国及び新興国経済の減速、更には長引く円高により、エレクトロニクス分野等を中心に先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、5ヵ年の中期経営計画の2年目として引続き、「事業構造変革の推進」、「海外事業への更なる取り組み」及び「新規商材の拡充」等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国際市況急落の影響を受けた金属部門の減収により682億62百万円（前年同期比2.8%減）となりましたが、化学品部門の分析機器事業等の増益により、営業利益は11億49百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は11億49百万円（前年同期比6.5%増）、四半期純利益は6億85百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

（化学品）

化学品部門につきましては、化学品関連は、硫酸等の無機化学品が順調に推移しましたが、仕入先工場の稼働停止及び円高による輸出環境の悪化が継続したことにより、主要商品の酢酸エチルの出荷が減少し、減収となりました。

科学システム関連は、主力の分析用ショウデックスカラム、高分子分析用ワイアット品、ピーエスエス品等が好調に推移し、増収となりました。

肥料農材関連は、農産物生産者の収益悪化に伴う購買意欲の減退と買い控えにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は160億1百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は3億83百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

（合成樹脂）

合成樹脂部門につきましては、前半にナフサ価格の上昇を受け、販売が増加しましたが、後半は、一転、原油、ナフサ価格の下落による需要家の買い控えにより、減収となりました。一方、合成樹脂関連商材につきましては、三国間取引が好調に推移し、増収となりました。また、開発につきましては、エンブラ事業の開拓に引き続き注力しており、成果が顕現しつつあります。

以上の結果、売上高は227億12百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は1億73百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

（金属）

金属部門につきましては、軽金属関連は需要家の減産等により2次合金、アルミ箔等の販売が減少し、減収となりました。

無機材料関連は、レアアースの国際市況が急落しており、需要家の買い控えと在庫調整の長期化により、大幅な減収となりました。また、研削・研磨材等につきましても欧州向け電子部品関連輸出の減少により低調に推移し、減収となりました。

以上の結果、売上高は155億77百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益は1億82百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

（生活環境）

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、アルミ建材、地盤改良等の販売が減少したものの、防災関係需要の増加により、鋳鉄管の販売が増加したため、ほぼ前年並みとなりました。

食品関連は、コラーゲンについては、震災の影響により仕入先の設備が引続き停止したことにより、減収となりましたが、主力のリンゴ酸の復調、メープル製品の新規販売、ライスバフ原料のスポット販売があったため、全体では増収となりました。

以上の結果、売上高69億43百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は2億27百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

(情報電材その他)

情報電材その他部門につきましては、エレクトロニクス関連は、液晶テレビの販売不振からLED需要が減退し、その影響でLED、サファイアインゴットとも低調に推移しました。一方、光焼成装置、中国向け製造装置、クリーンルーム等の販売については、好調に推移し、増収となりました。

その他事業に含まれる連結子会社につきましても、昭光通商(上海)有限公司の鉄鋼原料等が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は70億26百万円(前年同期比36.1%増)、営業利益は1億82百万円(前年同期比937.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における資産は、563億60百万円(前連結会計年度末比1.0%減)となりました。これは、「商品及び製品」が減少したことが主因であります。

負債は、407億81百万円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。これは、「短期借入金」が減少したことが主因であります。

純資産は、155億78百万円(前連結会計年度末比0.2%増)となりました。これは、四半期純利益の増加に伴う利益剰余金の増加が主因であります。

この結果、自己資本比率は0.3ポイント上昇して27.6%になりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて3億81百万円減少し、18億58百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加及びたな卸資産の減少等により5億31百万円の収入(前年同期比109億76百万円の収入増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入等により22百万円の支出(前年同期比58億60百万円の支出増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払及び自己株式の取得等により8億93百万円の支出(前年同期比52億64百万円の支出増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災及びタイの洪水からの回復の基調はあるものの、欧州経済の停滞等当面の間は不透明な経営環境下で推移するものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、平成27年を目標年度とした中期経営計画を着実に実行してまいります。

現在の見通しでは、平成24年2月9日に決算発表時に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、前第2四半期連結累計期間と同一の方法によった場合と比較して、業績に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248	1,942
受取手形及び売掛金	37,477	38,037
商品及び製品	3,337	2,582
販売用不動産	12	12
仕掛品	110	113
仕掛販売用不動産	273	353
原材料及び貯蔵品	278	288
その他	2,722	2,536
貸倒引当金	△123	△119
流動資産合計	46,338	45,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,667	1,613
機械装置及び運搬具（純額）	95	95
土地	4,900	4,900
その他（純額）	100	105
有形固定資産合計	6,763	6,715
無形固定資産		
のれん	50	48
その他	253	264
無形固定資産合計	304	312
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,315
長期貸付金	21	16
繰延税金資産	314	236
その他	1,279	1,122
貸倒引当金	△140	△107
投資その他の資産合計	3,524	3,583
固定資産合計	10,592	10,612
資産合計	56,931	56,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,727	30,706
短期借入金	2,675	2,600
未払法人税等	202	415
賞与引当金	162	157
その他	2,083	1,515
流動負債合計	35,851	35,394
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	796	803
その他	2,739	2,583
固定負債合計	5,536	5,386
負債合計	41,388	40,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	6,789	6,917
自己株式	△220	△464
株主資本合計	14,591	14,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	212
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	839	839
為替換算調整勘定	△17	△0
その他の包括利益累計額合計	914	1,052
少数株主持分	37	50
純資産合計	15,543	15,578
負債純資産合計	56,931	56,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	70,229	68,262
売上原価	65,732	63,735
売上総利益	4,497	4,526
販売費及び一般管理費	3,419	3,377
営業利益	1,078	1,149
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	60	58
雑収入	27	12
営業外収益合計	107	92
営業外費用		
支払利息	76	48
為替差損	6	22
雑損失	23	20
営業外費用合計	106	91
経常利益	1,079	1,149
特別利益		
貸倒引当金戻入額	67	—
受取損害賠償金	—	67
その他	5	—
特別利益合計	73	67
特別損失		
投資有価証券評価損	2	0
災害による損失	12	—
契約等解除損失	—	46
投資有価証券清算損	—	23
その他	8	0
特別損失合計	23	69
税金等調整前四半期純利益	1,128	1,146
法人税、住民税及び事業税	430	427
法人税等調整額	64	18
法人税等合計	494	446
少数株主損益調整前四半期純利益	633	700
少数株主利益	3	15
四半期純利益	630	685

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	633	700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	119
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△16	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△89	138
四半期包括利益	544	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540	823
少数株主に係る四半期包括利益	4	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,128	1,146
減価償却費	109	108
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	29	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△134	△37
受取利息及び受取配当金	△80	△79
支払利息	76	48
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,006	△520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	629	665
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,412	△26
未払費用の増減額 (△は減少)	43	18
預り金の増減額 (△は減少)	△285	△431
その他	△190	△182
小計	△10,093	716
利息及び配当金の受取額	86	85
利息の支払額	△92	△51
法人税等の支払額	△345	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,444	531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△76
定期預金の払戻による収入	18	—
預け金の増減額 (△は増加)	5,900	—
有形固定資産の取得による支出	△28	△45
有形固定資産の売却による収入	90	1
投資有価証券の取得による支出	△21	△14
投資有価証券の清算による収入	—	13
貸付けによる支出	△820	△1,685
貸付金の回収による収入	810	1,801
事業譲受による支出	△101	—
その他	△2	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,837	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,829	△75
自己株式の取得による支出	△0	△244
リース債務の返済による支出	△11	△15
配当金の支払額	△445	△556
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,371	△893
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△229	△381
現金及び現金同等物の期首残高	2,687	2,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,458	1,858

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,529	21,246	19,732	6,557	5,164	70,229	—	70,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	5	0	8	140	178	△178	—
計	17,552	21,251	19,733	6,566	5,304	70,408	△178	70,229
セグメント利益	300	281	316	161	17	1,077	0	1,078

(注) セグメント利益の調整額0百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,001	22,712	15,577	6,943	7,026	68,262	—	68,262
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	10	2	6	124	164	△164	—
計	16,021	22,723	15,580	6,950	7,151	68,426	△164	68,262
セグメント利益	383	173	182	227	182	1,149	△0	1,149

(注) セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。